

ボランティア・市民活動センター情報

2014(平成26).10.1 No.2-1
(2000年度以降 通巻41号)



ボランティアルーム(開設 2004.8.3) 改装再開 2011.6.1

小樽市社会福祉協議会 小樽市ボランティア・市民活動センター

〒047-0033 小樽市富岡1-5-10 小樽市社会福祉協議会内

TEL 33-5299 FAX 32-5641

Eメール ovcac@otaru-shakyo.jp

URL http://otaru-shakyo.jp

このセンター情報は共同募金の助成を受けて発行しております

2014.9月末現在

24団体が利用中!

※利用には登録が必要です※

短い夏が終わったかと思うと急に寒くなったり、暑くなったり(>_<) 皆さん、体調管理には気をつけてください。

今号では、2014年度前半の事業についてお伝えいたします。

第33回ボランティアスクール 開講

2014.5.31(土)、6.1(日)、6.3(火)



今年で33回目となりましたボランティアスクールですが、高校生3名を含む7名の受講生でスタートしました。受講理由は、「知人に誘われたから」「ボランティアとは何かということを知りたかった」「学校の先生に勧められて」とそれぞれに違い、また世代も10代~60代と幅広かったのですが、活発な意見交換や時には笑いもあり、和気あいあいと3日間を過ごしました。



講義に加え、高齢者疑似体験や視覚障がい者疑似(アイマスク)体験、クロスロード、障がい者支援施設の訪問、ボランティア実践者との交流座談会など盛りだくさんの内容でした。

実習が終わる度に個人で「ふりかえり」、全体で「わかちあい」をし、体験したことを思い出しながらさまざまな自分に気づき、そして出会い、長いようで短い3日間は参加者にとって「心」に響く実りのある講座となりました。

来年はあなたもボランティアスクールに参加して、新たな自分と出会ってみませんか?

【参加者からの声 ※アンケートより一部抜粋】

◎実際に活動している人たちの話を聞くことができてよかった。

◎ボランティアに携わるといことは、自分が思っていた以上に責任の重さ、健康、家庭との両立など考えることがあるんだと分かった。

◎将来やりたい仕事に役立てたい。

◎最初、ボランティアという活動を訳の分からない状態でやっていたが、心がまえや身近な車椅子、精神保健について勉強できたので、今後の活動に活かしていきたい。



活動に活かそう、コミュニケーションカススキルアップ研修会 開催!

2014.6.14(土)、15(日)



ボランティアや市民活動だけでなく、日常生活で人と人とが理解し合い、より良い人間関係づくりのために必要な「コミュニケーション」についての研修会を、今年も2日間にわたって開催しました。

講師には体験学習ファシリテーター 織田智恵氏を迎え、いろんな教材を使いながら、4つのテーマ「自分を知るを楽しむ」「思い込み」「話す、聴く」「グループを楽しむ」に沿って進められていきました。

自分がどのように人と話をしコミュニケーションをはかっているか、第三者が観察をして客観的に捉えるという実習では、聴く時の姿勢、話すタイミング、間の取り方など、気づいていない自分に気づくことができるとも良い機会になったようです。参加者からは「もう一度自分を見つめ直して、明日からの活動へつなげていきたい」「傾聴の大切さを学んだ」「コミュニケーションをとるために自分自身の弱点を知ることができた」「ほかのボランティア団体の話が聞けて良かった」などの感想をいただきました。



車椅子に乗ってみよう!! 車椅子の基本操作研修会

2014.6.28(土)



北海道済生会 小樽老人保健施設はまなす リハビリテーション科 塩野谷千恵子氏(理学療法士)を講師にお迎えして、車椅子の基本操作についての研修会を開催しました。

車椅子の基本操作説明は、総合福祉センター4階の研修室で行われ、車椅子の広げ方、たたみ方といった基本操作から、各部の名称の説明、手足の位置、階段の上り下りの方法、外出時のポイントなど細かく説明していただき、いざ実際に街へ!操作する側と乗る側を体験することで、大変さや注意すべき点を知ることができました。

受講生の中には、家族の方が車椅子を利用し始め、詳しい説明も受けられないまま車椅子を操作しなくてはいけなくなり、困っていたところに今回の研修会を見つけて大変助かったという方もおられ、主催者である私たちも研修会の必要性をあらためて感じました。

